

地場産業を使用したワークショップのための企画案

福島県指定伝統的工芸品の1つである、二本松市の上川崎和紙を利用し、市民へワークショップを開催します。行政政策学類4年穴戸が卒業研究テーマとして上川崎和紙を取り上げたことがきっかけです。

所属している辻ゼミでは「生活とアートのかかわりについて考える」ことをテーマにしていることから、福島大学地域創造支援センター（CERA）所属研究会の「美術館とまちづくり研究会」と連携し、研究会が昨年からは継続している「親子でアートなワークショップ」シリーズの一環に位置付け、今回の企画をたてました。

参加者の地場産業への興味、関心を高めるため（穴戸）、地域の伝統工芸を現代の生活に取り込む試みとして（辻ゼミ）、その作業をアートと捉え日常生活にアートを取り込み親しむ生活をシェアするため（美術館とまちづくり研究会）、ワークショップを通して実際に和紙を使用した身近な生活品を作成します。

二本松和紙伝承館で視察・調査を行い、指導員の方からレクチャーと実技指導を受けました。同じ問題関心を持ち、美術の授業に取り組んだ福島二中の木島先生が現場での指導にあたります。当日は会場如春荘で、生徒さんの作品を展示します。

実施にあたっては、関係者各位と協議を重ね、参加者にとって最善のワークショップとなりますように、調整を行います。また、安全性には細心の準備と臨機応変な対応を行います。

実施日 11月27日（土）13:00～16:00

会場 如春荘（福島大学施設の古民家 県立美術館前）
県立美術館の駐車場がご利用になれます。

テーマ ~親子でアートなワークショップ vol.3~
福島県指定伝統的工芸品二本松市上川崎和紙をアートとして生活の取り込む試み

目的 地場産業である伝統的工芸品を実際に使用し、市民が身近にある地域の地場産業について考えながら、現代の生活の中にアートとして取り込む機会を共有する。

主催 美術館とまちづくり研究会@福島大学 + 辻ゼミ@行政政策
⊗ 本企画担当 穴戸@辻ゼミ
⊗ ワークショップ指導+展示監修 木島@二中
⊗ 技術指導 遠藤@二本松和紙伝承館

方法

メンバー挨拶と上川崎和紙に関する基本的な情報の紹介。

(辻ゼミメンバーが、手元の学習資料を元に、上川崎和紙の産地や伝承館の紹介、和紙ができるまでに関して簡単に説明する。約10分を確保予定。)

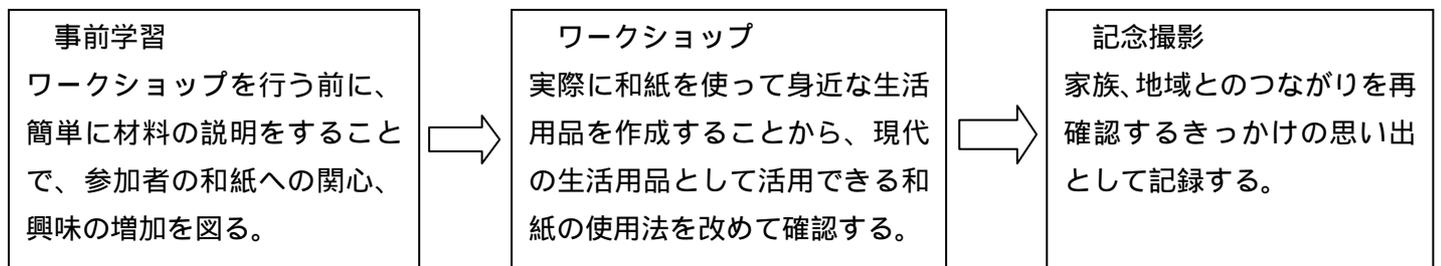
実践ワークショップ

(ランプシェードの作成・・・緑川先生のご指導、辻ゼミメンバーの協力の下、怪我のないよう参加者と共にランプシェードを作成していく。約2時間を確保予定。)

記念撮影

(まとめとして行う。)

対象 親子もしくは、祖父、祖母と孫(対象年齢 小学校低学年から)



親子でアートなワークショップvol. 3

県指定伝統的工芸品二本松市上川崎和紙を使って 親子でランプシェードをつくろう

美術館とまちづくり研究会（福島大学 CERA 登録研究会）



日時 11月27日（土）13:00～16:00

会場 如春荘（森合 県立美術館向かい）

*県立美術館の駐車場をご利用になれます

ランプ台代金として実費1000円を承ります。（当日受付時にお支払いください）

募集人数 先着10組20名 *対象 小学生低学年以上

*対象として、親子や祖父母とお孫さんなどのペアを想定していますが、友人と
のご参加、個人でのご参加もOKです

*1ペアにつき1つのランプシェードを作成します

*福島市立福島第二中学校の生徒の皆さんがつくった作品も展示いたします

*当日は木工用ボンド等を使いますので、汚れても良い服装かエプロンご持参でお越しください！

申し込み締め切り 11月20日（土）

申し込み方法 メール、もしくはFAXでお申し込み下さい。

件名「和紙ワークショップ体験申し込み」

本文 ①代表者氏名 ②代表者ご連絡先（電話番号）

③参加人数_____名（ペア参加の場合、「親子」など内訳もお書き下さい）

④制作希望個数_____個（制作数1個につき1000円を承ります）

Eメール送信先 a102@ipc.fukushima-u.ac.jp

FAX申し込み先 024-548-5244（福島大学地域連携課）